

世界156カ国10万の若人

一つにとけあうハーモニー・歌声に国境はない

ある時は地下鉄駅前で、ある時はホテルのロビー、またある時は、世界のアーティストが一度は踏んでみたいと思うポリシヨイ劇場で、コンセルバトワールで、「ミール」(平和)、「ドゥルジバ」(友情)、「フェスティブライ」(祭典)、国、

この頃の違いをこえて、唱和しあい、日没十時という長い一日一日、うたい交わし交流を重ねた十二日間。

まさに命をかけた闘いの中で勝利を約束するニカラグア人民の熱いこぼれ、革命勝利十周年を伝えるベトナム人民、「核兵器全面禁止、廃絶」を叫ぶ八五年日本のうたヒロシマ・ナガサキからのア

「ビル」署名に、列をつくらせて応えた人びと。平和を願う人びとの心が幾度となくモスクワの空を染めていきま

好評だった新曲「広島」それは大きな悲劇「L・オシヤニン」時、寺原伸夫曲のソールド、他をお伝えしていきます。

第一回の今号は「世界青年学生祭典参加 うたごえ行動日誌」です。

つづいて、交流の模様、モスクワの街並、出合いのエピソード、他をお伝えしていきます。

うたごえ 代表団 行動日誌

(7月24日～8月4日、モスクワ)

(1)

7月24日(水) 午前十一時、成田発アエロフロート機でモスクワへ(飛行時間10時間)。

この便には日本の文化代表団三十七名と全学連、民主青年同盟の代表団ら約百五十名が同乗。

うたごえ代表団さっそく行動開始。機内で「原爆を許すまじ」ロシア語版を歌唱指導。

夕刻、モスクワ着。モスクワ滞在中のホテル「コスモス」に到着。

7月25日(木) モスクワで一晩を過ごした後朝八時半より二時間、初の現地レッスン。

午前十時半、ソビエト側の招きで無名戦士の墓、レーニン廟(びよ)を訪れ献花。レーニン廟の後に世界の革命

家の墓碑がある。日本人としては一人、片山潜の碑がある。

午後、祭典中、日本代表団に見学。(ここでは文化、スポーツ、青年交流など日本側の主催の催しや交流をする。

午後七時、市内の劇場でパレ「白鳥の湖」を観る。十時すぎホテルへ帰る。ようやく日没、夕食十一時。日程はほほこんな具合。とにかく一日のスケジュール終わるのが十一時、十二時。

午後、祭典中、日本代表団に見学。(ここでは文化、スポーツ、青年交流など日本側の主催の催しや交流をする。

午後七時、市内の劇場でパレ「白鳥の湖」を観る。十時すぎホテルへ帰る。ようやく日没、夕食十一時。日程はほほこんな具合。とにかく一日のスケジュール終わるのが十一時、十二時。

7月26日(金) 午前中、クラブハウスでレ

午後六時より開会式のため三時より市内パレード。うたごえは文化代表団とともに「花笠」を踊りながら行進。入場行進の待ち時間はさながら各国の民族芸能祭典のよう。あちこちでリズムが打ちなされる。歌が交わされる。

開会式は子どもたちのかわいいうたごえが次々と披露され、八千人の文字は、数

7月27日(土) 開会式(レーニンスタジアム)

午後六時より開会式のため三時より市内パレード。うたごえは文化代表団とともに「花笠」を踊りながら行進。入場行進の待ち時間はさながら各国の民族芸能祭典のよう。あちこちでリズムが打ちなされる。歌が交わされる。

開会式は子どもたちのかわいいうたごえが次々と披露され、八千人の文字は、数

7月28日(日) 午後四時まで、ナショナルコンサート(7月29日)にむけてのレッスン。

午後四時、「反ファシズム四十周年記念」の集会に参加。市内を一時間パレード。ここではうたごえ代表団署名活動

午後十一時、日本クラブハウス開館式。

7月29日(月) 午前九時、オリムピックススタジアム野外ステージで演奏「ウラルのぐみの木」「フリナム」「サンディニスタ賛歌」「広島それは大きな悲劇」を演奏。

「ウラルのぐみの木」はとてもうける。歌声の演奏に聞き入る婦人はメロディーに合わせて肩を揺らして応える。

昼食後、ホテルロビーで夜のコンサート「セレモニー」を兼ねて演奏。日本舞踊の踊り邦楽(琴と尺八)の伴奏うたごえの合唱で「さくら」の

7月30日(火) 午後、パントマイム劇場でのナショナルコンサート「日本の夕べ」のリハーサル。午後八時、「日本の夕べ」開演。ホテルでのセレモニーと同じく「さくら」合奏で開幕。これに新体連の居合い、人形劇団ブークの「日本のまつり」プロ、きたがわてつ氏らうたごえ等、各団体の演奏で構成された第一部。

うたごえはきたがわてつ氏と組んだ「まつり」の踊りと「炭鉱ばやし」「ソーラン節」「広島それは大きな悲劇」他を演奏。

第二部は「核兵器廃絶へ」ヒロシマ・ナガサキから世界へ」と題して、スライドと時、歌で綴る三十分の構成。一九四五年八月の広島、長崎

7月31日(水) 早朝よりうたごえ二手に別れて二ヵ国間交流にでかける。

朝七時半出発のニカラグアとの交流組はモスクワ大学へ。八時半出発のベトナムとの交流組はベトナムのクラブハウスへ。

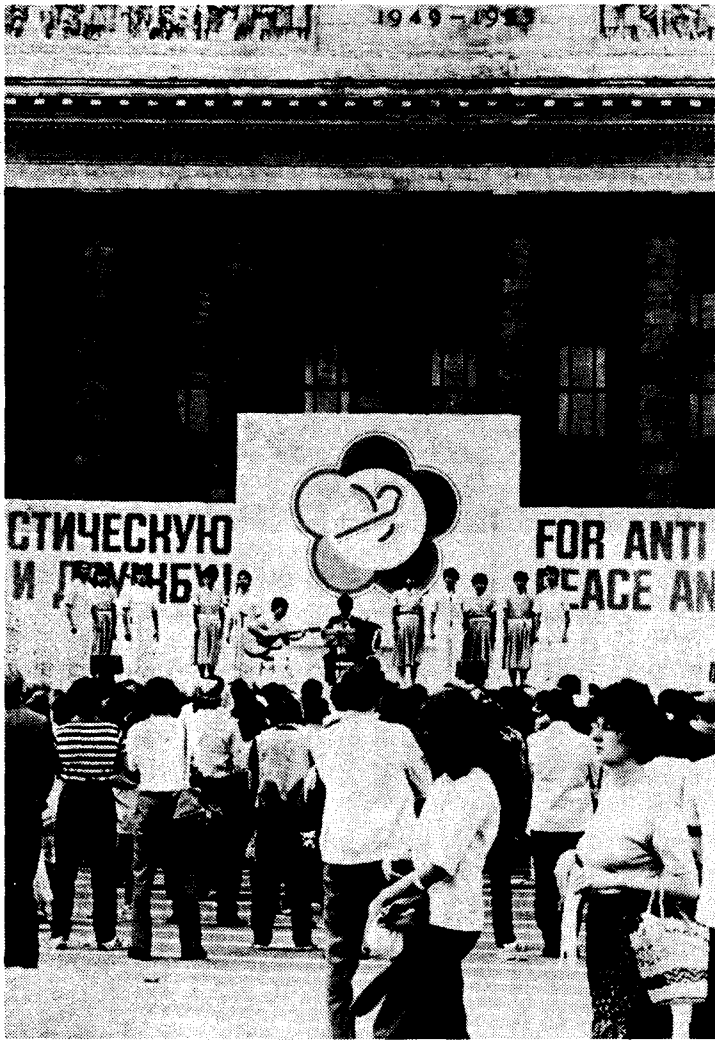
ニカラグア組は「サンディニスタ賛歌」で交流。闘いの真口中のニカラグアと熱い連帯を約束。感動さめやらぬ一行はモスクワ大学のりんご並木をうたいながら帰り、地下鉄駅前でもうたごえを。

また会場に行く途中、大学構内で演奏会が開かれておりなりゆきでステージへ。「俺たちのシルクロード」を演

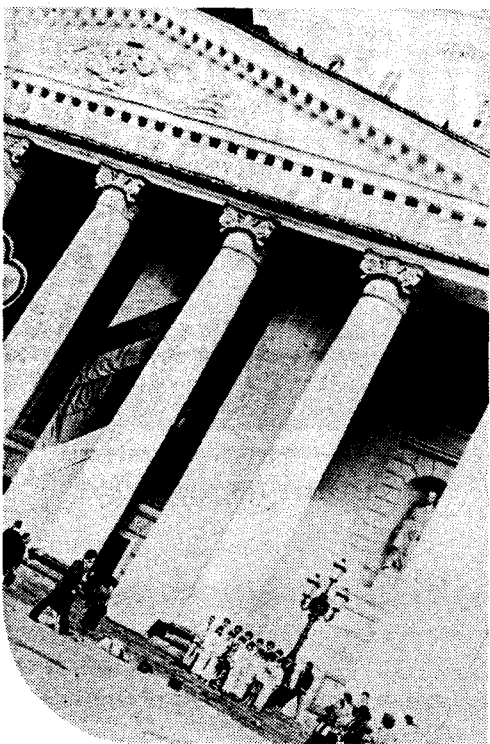
学生平和友好祭典*

和 PEACE

集めた12日間



▲8月3日フィナーレのステージ・モスクワ大学前



▲ポリシヨイ劇場の前で



▲開会式の待ち時間、さながら世界民族祭典のよう



▲連の子どもたちと代表団

(5面へつづく)

